

第3回 あびこeモニターアンケート 「学童保育室・あびっ子クラブについて」集計結果

アンケート送信日	令和3年10月1日（金）
実施期間	令和3年10月1日（金）から令和3年10月14日（木）まで
登録者数	347名
回答者数	256名
回答率	73.78%

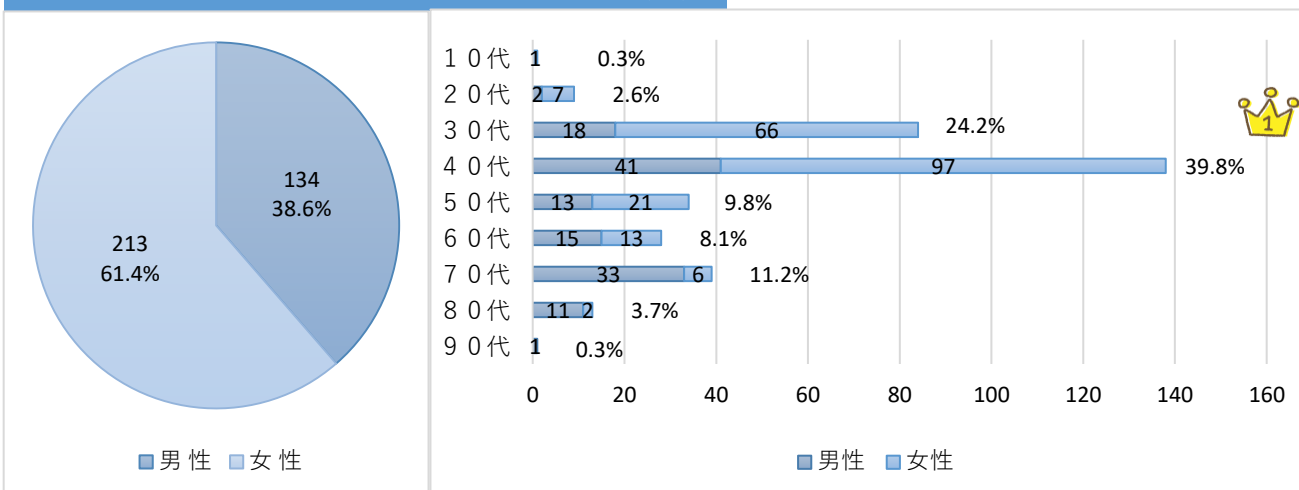
<担当課> 子ども支援課

<実施の目的>

小学生が安心して健やかに成長できるように、学校終了後の放課後及び土曜日などに学童保育室・あびっ子クラブを運営しています。小学生が放課後や土曜日などの時間はどのように過ごされているか、学童保育室・あびっ子クラブの満足度や改善点等を調査して、今後の施策展開の参考とするため、アンケートを実施します。

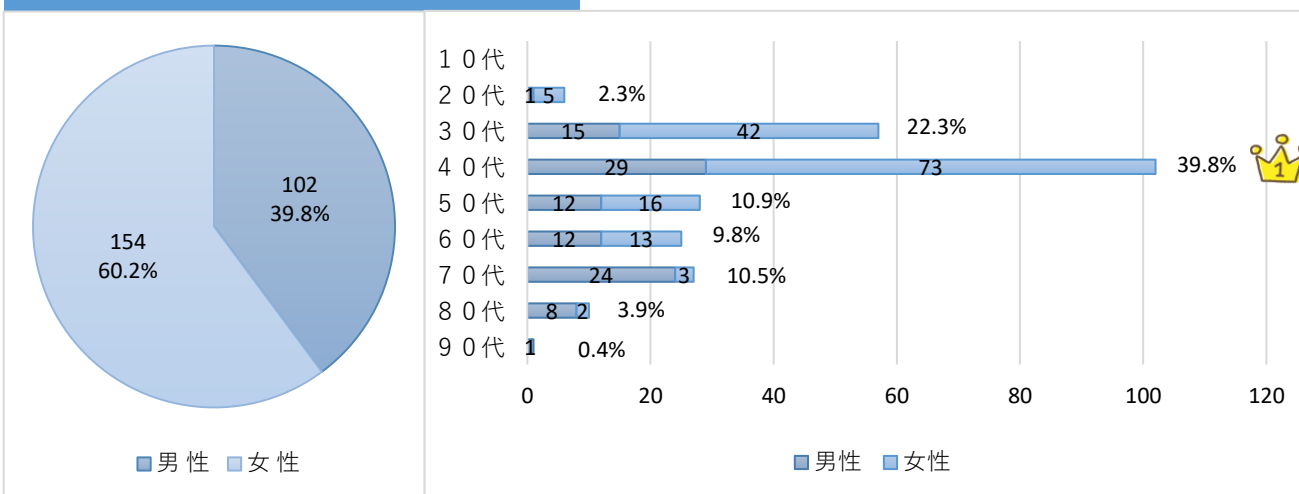
<あびこeモニターアンケート登録者の内訳>（人）

令和3年10月15日現在



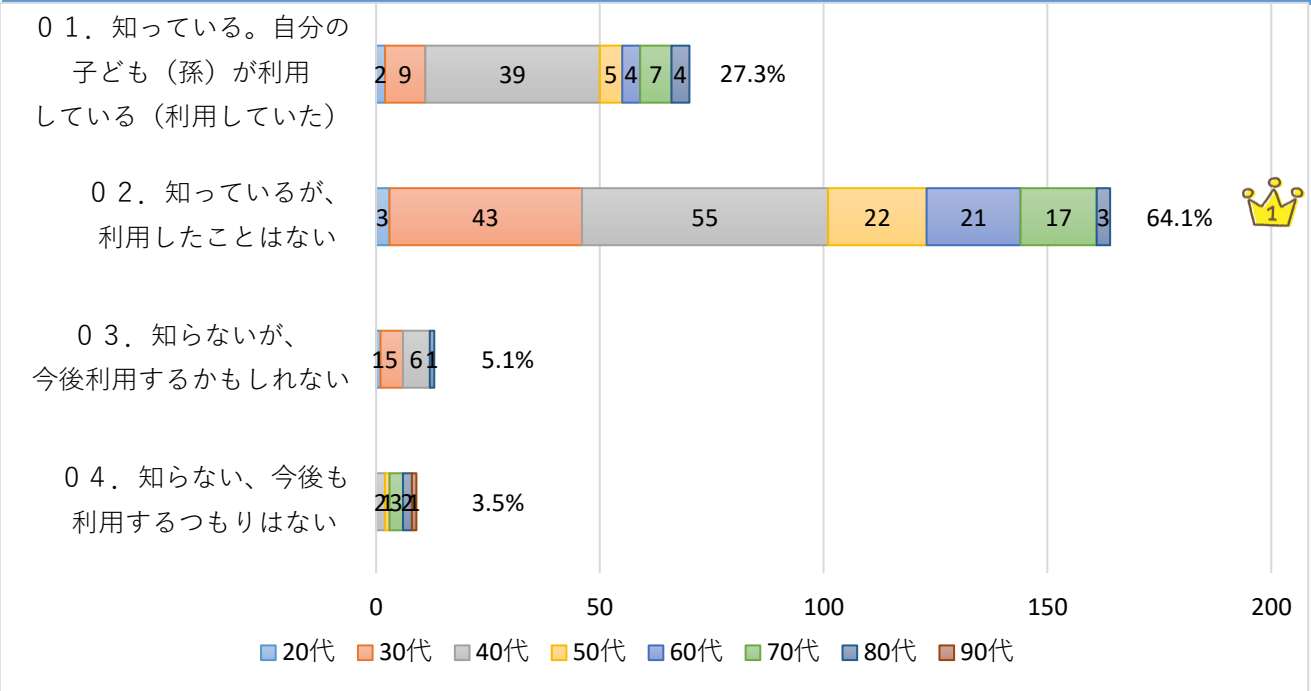
<アンケート回答者の内訳>（人）

令和3年10月15日現在



※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。（次ページ以降も同じ。）

問1 学童保育室を知っていますか。



※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。（次ページ以降も同じ。）

<コメント>

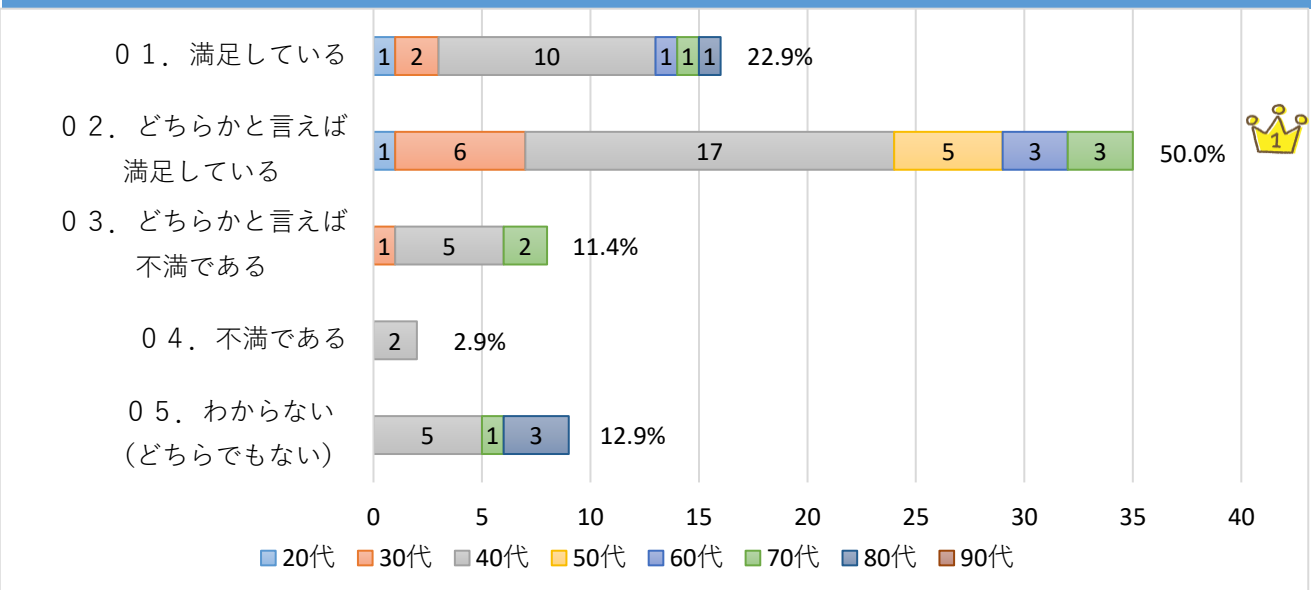
約9割の方が学童保育室を知っている結果となりました。

市内小学校に通う約1～2割の児童が、現在学童保育室を利用しています。今後も就労や病気等で保育を必要とする保護者に対し、学童保育が利用できるように事業の周知に努めていきます。

【学童保育室の概要】

http://www.city.abiko.chiba.jp/kosodate/gakko_houkago/gakudohoiku/gakudou.html

問2 問1で「01」と回答した方にお聞きします。学童保育室に対して満足していますか（していましたか）。

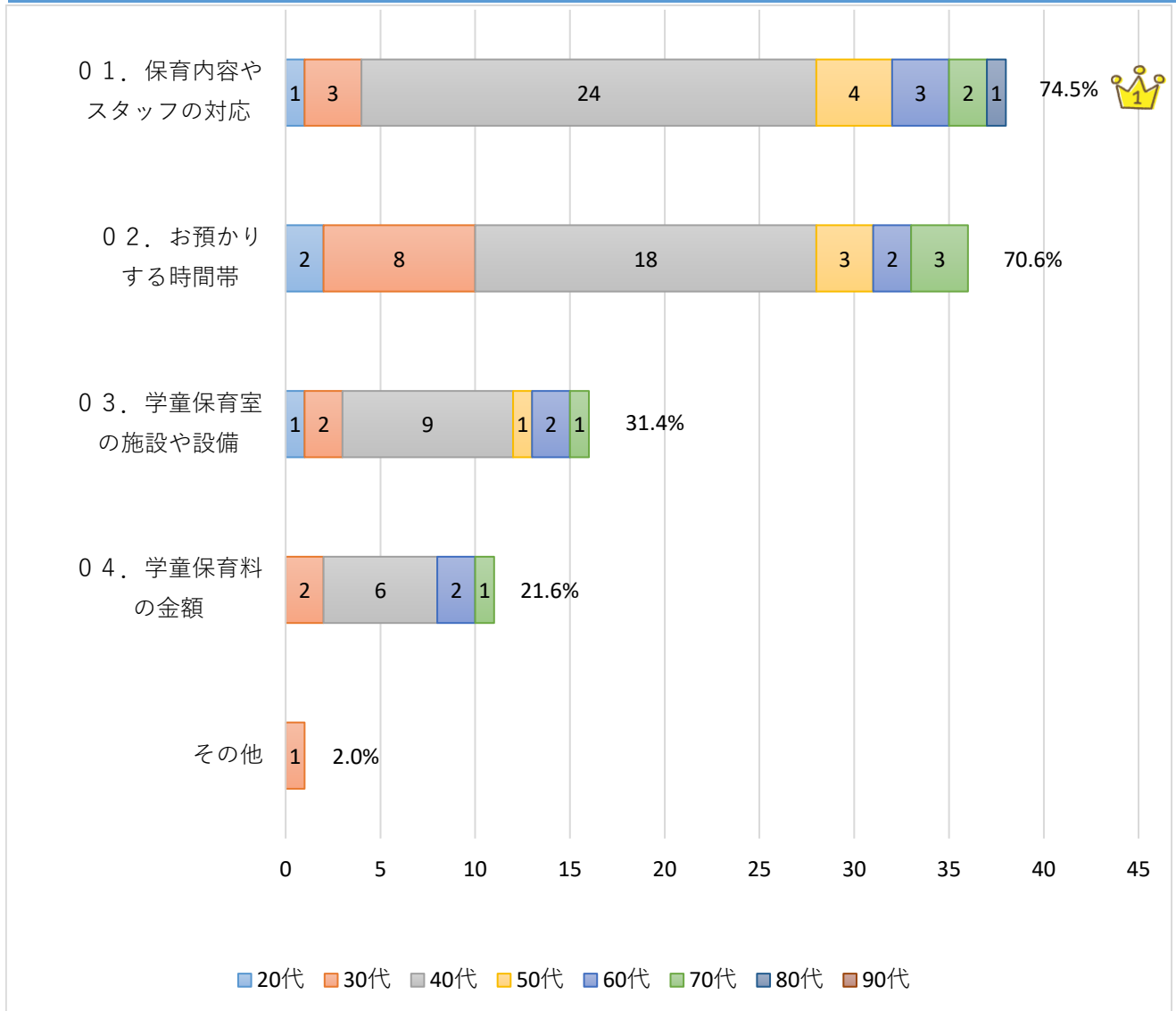


※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。（次ページ以降も同じ。）

<コメント>

約7割の方が満足している結果となりました。満足度がさらに向上するよう、引き続きより良い学童保育の運営に努めていきます。

問3 問2で「01」又は「02」と回答した方にお聞きします。学童保育室のどのような部分に満足していますか。（あてはまるものをすべてお選びください。）



※複数選択のため、当該選択肢を選んだ方を問2で01又は02を選択した方で割った数値となっております。

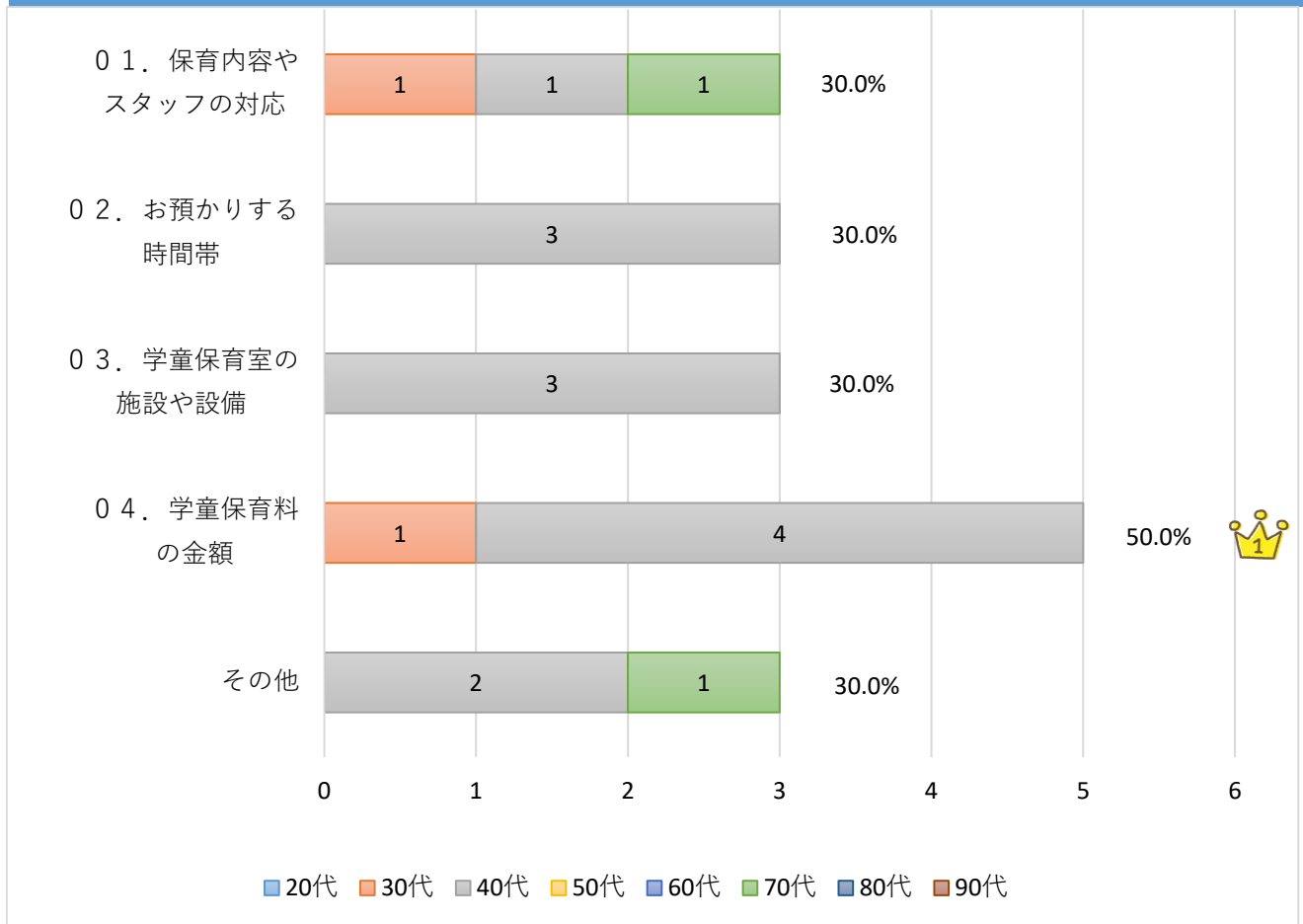
【その他回答】

- ・ 配食がありがたい

<コメント>

保育内容やスタッフの対応、お預かりする時間帯については7割以上の満足度をいただきました。満足度を低下させないように、引き続き、接遇や保育内容にかかわる研修等を開催し、保育内容とスタッフの質の向上に努めていきます。また、民営化した保育室では、保育時間の延長や民間ならではの配食サービスなどを継続していきます。

問4 問2で「03」又は「04」と回答した方にお聞きします。学童保育室のどのような部分が不満でしたか。（あてはまるものをすべてお選びください。）



※複数選択のため、当該選択肢を選んだ方を問2で03又は04を選択した方で割った数値となっております。

【その他回答】

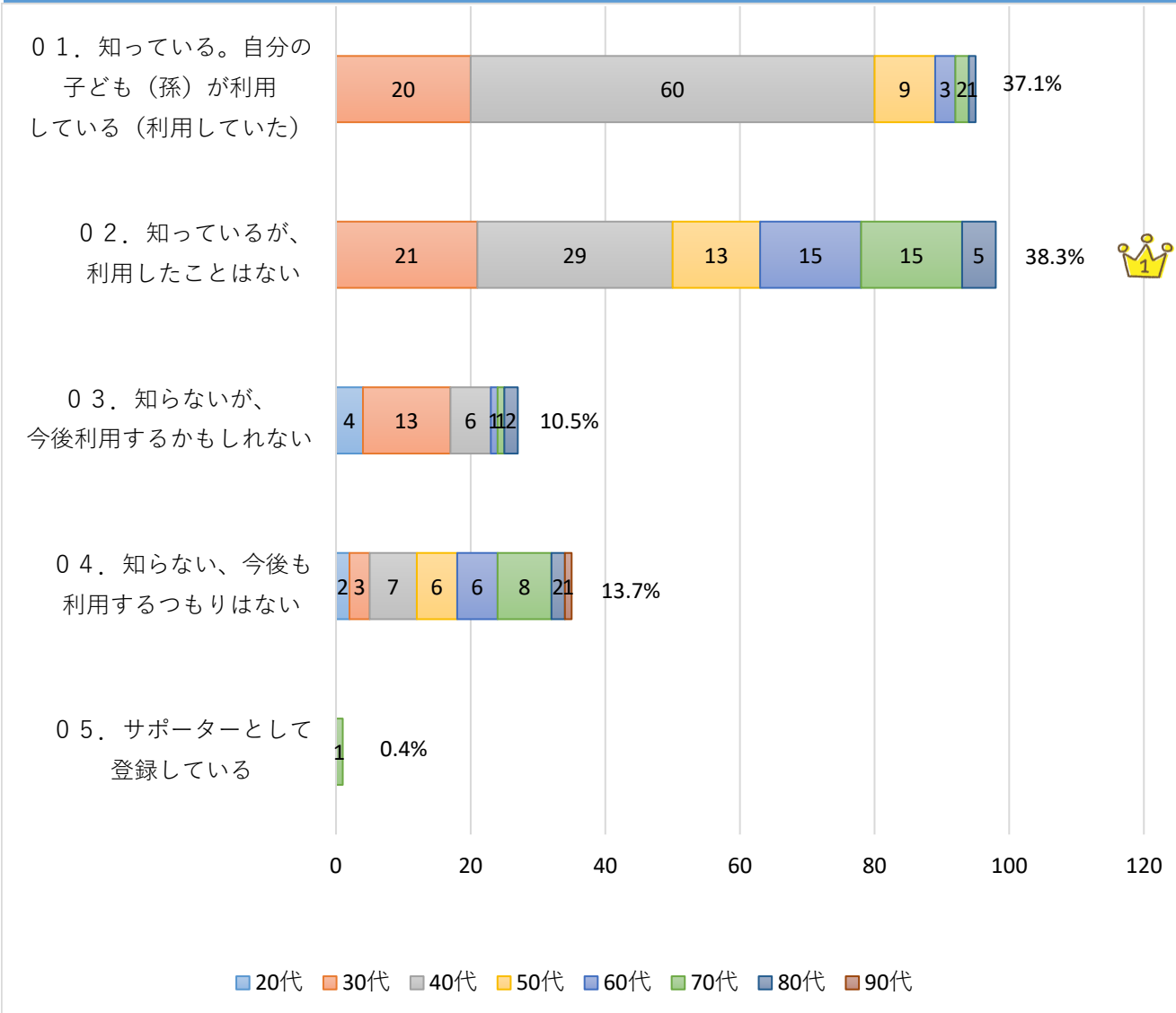
- ・ 時間帯も含め親の役員が学童にもある事が負担です（PTA役員含め）。こうあるべきという雰囲気
- ・ 子供のけんか、好き嫌い
- ・ 勉強も少し見てほしい

<コメント>

学童保育室をご利用のすべての方に満足いただけるように、引き続き接遇や保育内容にかかわる研修を実施し、質の向上に努めていきます。保育時間や学童保育料につきましては、他市の状況や必要に応じてニーズ調査を行い、より良い学童保育室の運営に努めていきます。また、施設や設備については、計画的に保育環境の整備に努めます。

役員については、学童保育の発足自体が父母会運営という経緯があり、父母会や市連協（我孫子市学童保育連絡協議会）は任意団体の扱いとなることから、役員の決定や団体の運営等の決定権は市にありませんので、ご理解くださいますようお願いいたします。

問5 あびっ子クラブを知っていますか。



※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。（次ページ以降も同じ。）

<コメント>

7割を超える方があびっ子クラブを知っている結果となりました。

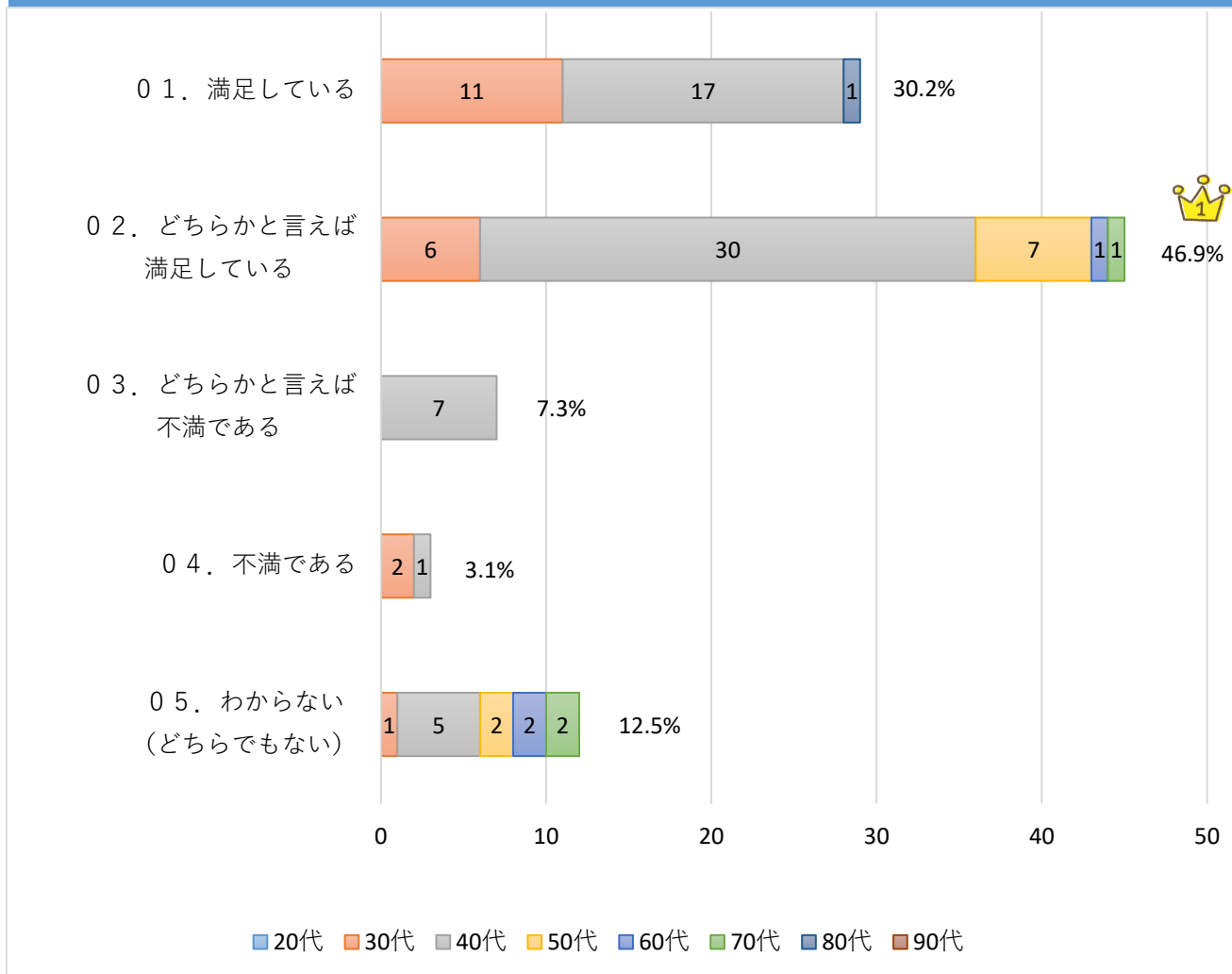
平成19年度に我孫子第一小学校で一か所目がオープンし、順次あびっ子クラブを設置してきました。平成30年度に布佐小学校への設置が完了し、市内全小学校にあびっ子クラブが設置されました。当初は認知されていませんでしたが、今では多くの方に認知されています。

あびっ子クラブは市内小学校に在籍している小学生が登録していただければ、自由に来て自由に帰ることができる放課後の居場所になります。地域の方々にはあびっ子クラブのサポーターとして登録をしていただいております。子どもたちと一緒に交流することができる貴重な体験の場となっています。

あびっ子クラブ（子どもの居場所づくり事業）

http://www.city.abiko.chiba.jp/kosodate/gakko_houkago/gakudohoiku/abikkoclub.html

問6 問5で「01」又は「05」と回答した方にお聞きします。あびっ子クラブに対して満足していますか（していましたか）。

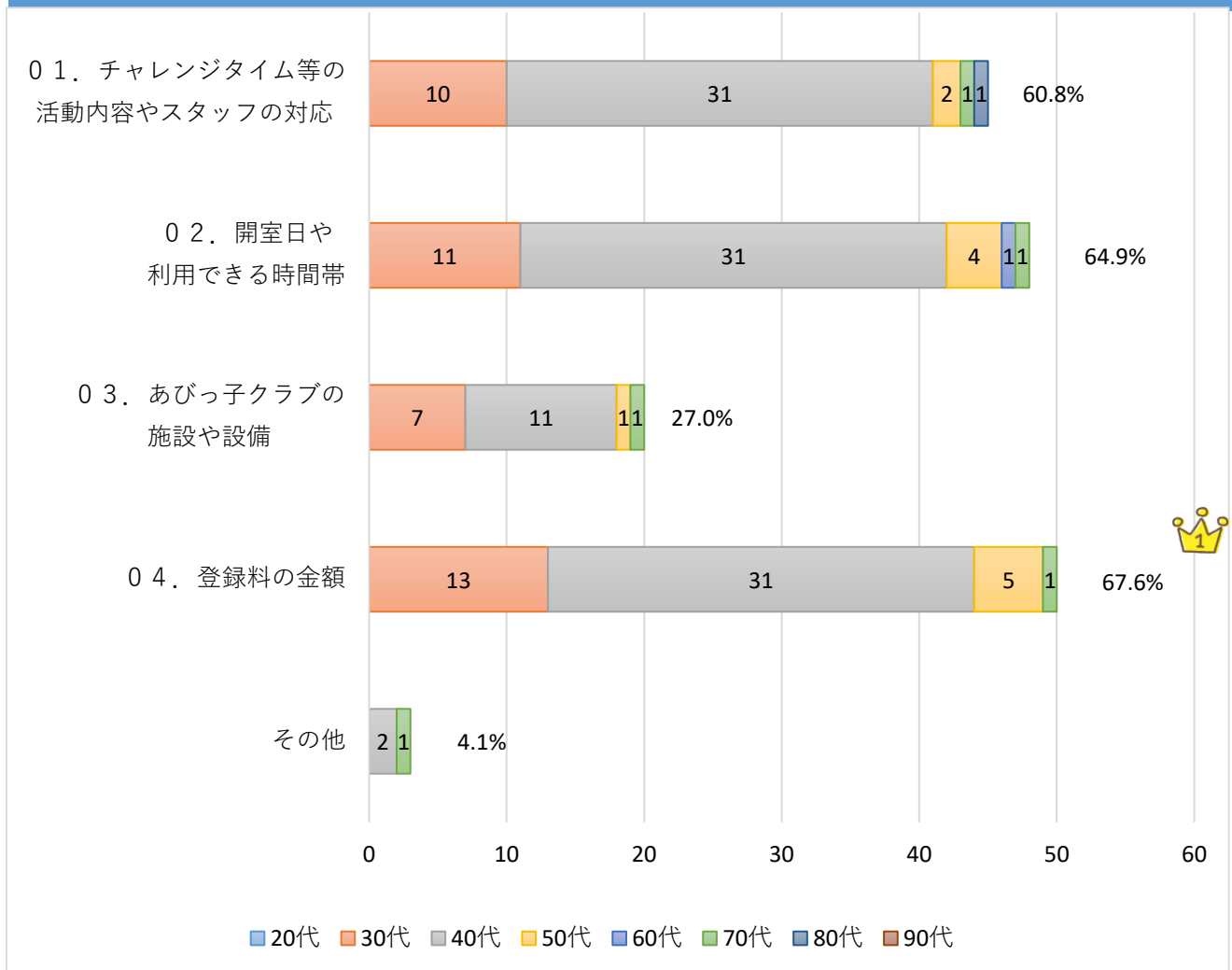


※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。（次ページ以降も同じ。）

<コメント>

約8割の方が満足している結果となりました。現在はコロナ禍の影響により、制限を設けている部分もありますが、引き続き、より良いあびっ子クラブの運営に努めていきます。

問7 問6で「01」又は「02」と回答した方にお聞きします。あびっ子クラブのどのような部分に満足していますか。（あてはまるものをすべてお選びください。）



※複数選択のため、当該選択肢を選んだ方を問6で01又は02を選択した方で割った数値となっております。

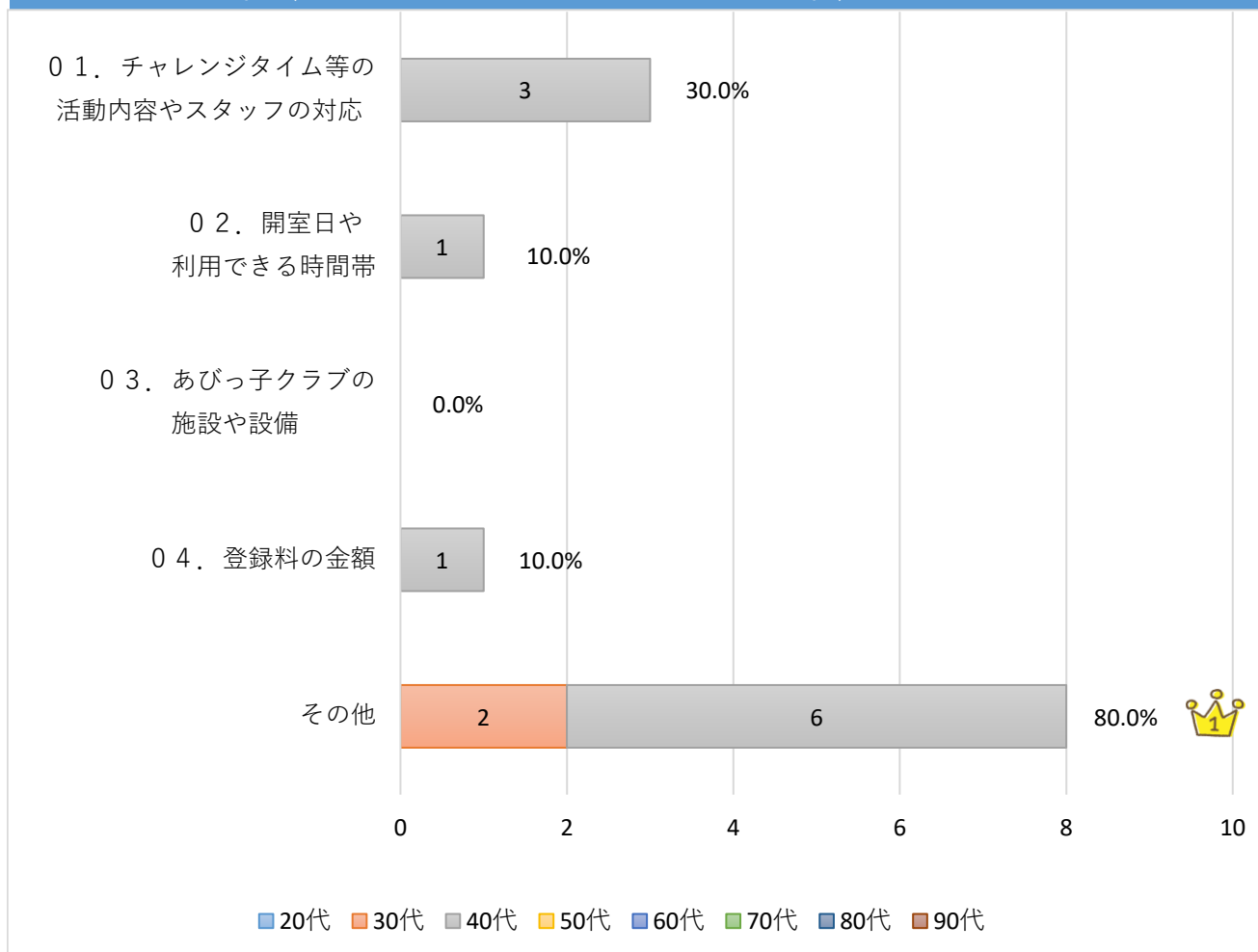
【その他回答】

- ・ こどもが好きなおもちゃがあると聞いてます
- ・ 子供同士が安心して遊べる場所として存在していること自体に感謝、満足している。
- ・ 上級生、下級生と一緒に居て子どもの育成になかなか素晴らしい施策だと思って居ます。

<コメント>

「あびっ子クラブの施設や設備」以外は、6割以上の満足度をいただいています。引き続き、計画的な居場所の環境整備に努めていくとともに、学童保育室を利用している子・していない子や学年などの隔たりが無く、全ての子ども達が安心して遊ぶことが出来るよう、遊びの充実やスタッフの対応の向上に努めていきます。

問8 問6で「03」又は「04」と回答した方にお聞きします。あびっ子クラブのどのような部分が不満でしたか。（あてはまるものをすべてお選びください。）



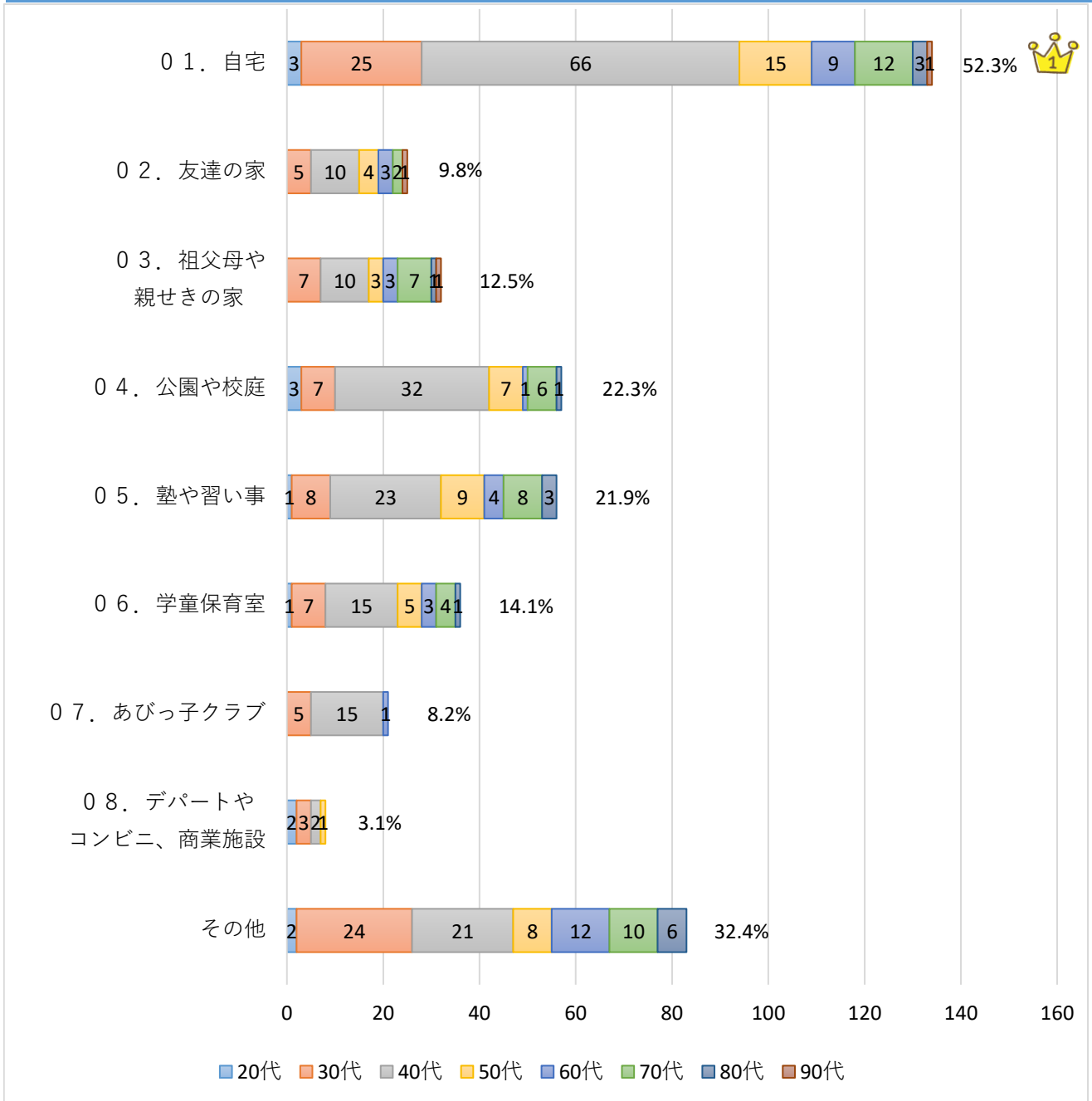
【その他回答】

- ・遊びの内容がつまらないと感じている。（同様の回答複数あり）
- ・部屋が狭いと子供が言っているので換気が心配です
- ・お迎えの際、保護者が入り口であいさつしても無言で対応なし。子供と一緒にスタッフがゴロゴロしている。
- ・あびっこ側から学童へ遊びに行けず、寂しい思いをしていた
- ・コロナ禍で以前のようなイベント的な内容がなくなってしまったこと。
- ・子どもが行きたがらない。学童は好きと言ってる。

<コメント>

主に、活動内容に関する事で不満足の評価をいただきました。遊びの内容はコロナ禍の影響により、遊び方や過ごし方の再考を余儀なくされました。現在は定期的な換気のほか、感染対策を講じながら運営しておりますので、不満足に思う部分はあるかと思えます。感染状況が落ち着いてきましたので、サポーターの受け入れを再開し、徐々に活動内容をコロナ禍前の状況に戻せるように取り組んでいきます。スタッフの対応については、担当課から指導を行います。

問9 コロナ禍となる前の小学校終了後、お子様はどちらで過ごすことが多いですか。多いものから3つお選びください。



※複数選択のため、パーセントは当該選択肢を選んだ方を回答者の中で割った数値となっております。

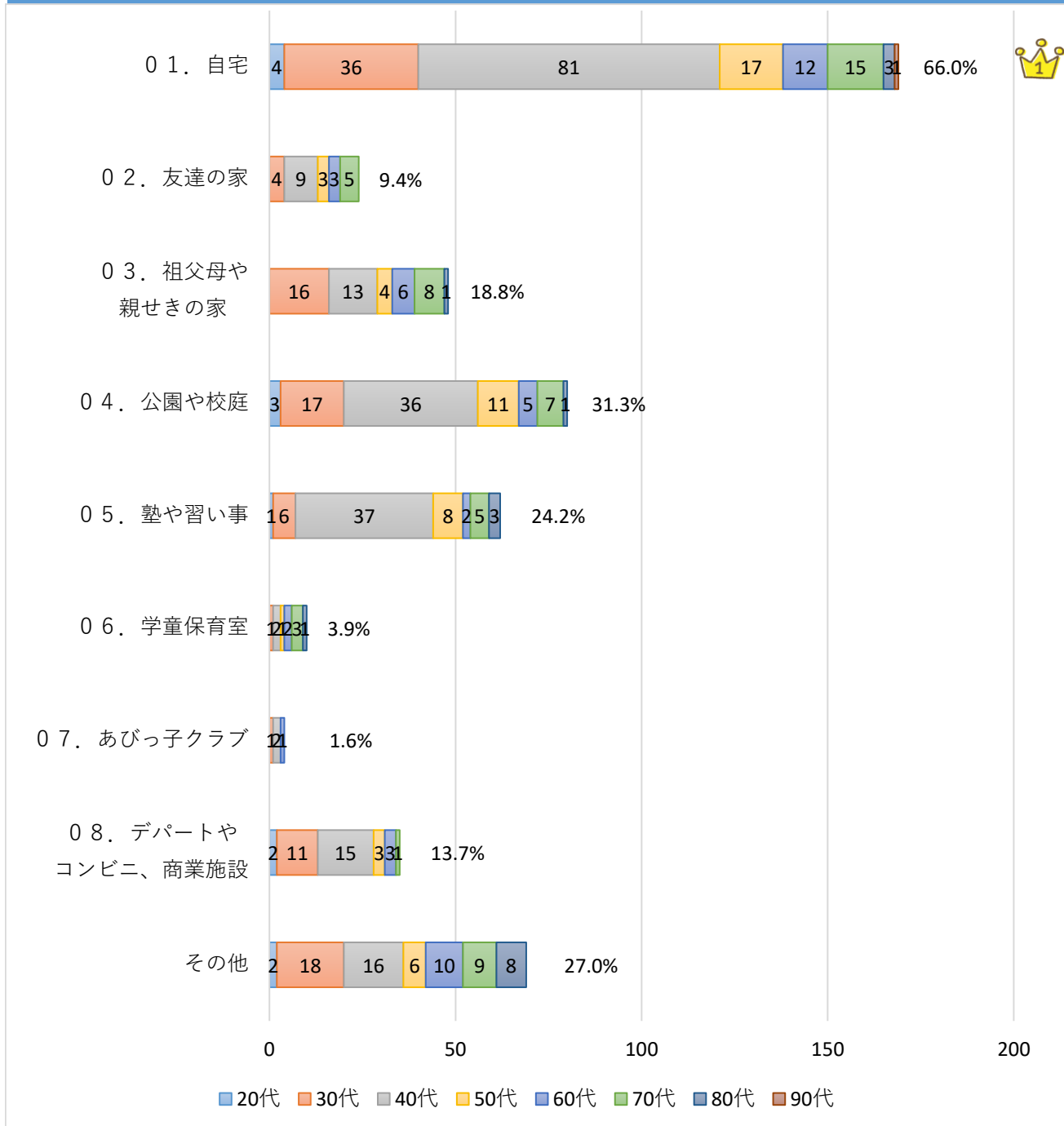
【その他回答】

- ・小学生の子どもがいない（同様の回答多数あり）
- ・コロナ禍しかわからない（同様の回答複数あり）

<コメント>

コロナ禍である前から、学校終了後は自宅で過ごす子どもが多い結果になりました。この結果から、あびっ子クラブを利用する児童が担当課の想定より少ないことがわかりました。アンケート結果を踏まえ、学童保育室やあびっ子クラブが、子どもたちの過ごす場所のひとつとして充実するよう努めていきます。

問10 コロナ禍となる前の土曜日、お子様はどちらで過ごすことが多いですか。多いものから3つお選びください。



※複数選択のため、パーセントは当該選択肢を選んだ方を回答者の中で割った数値となっております。

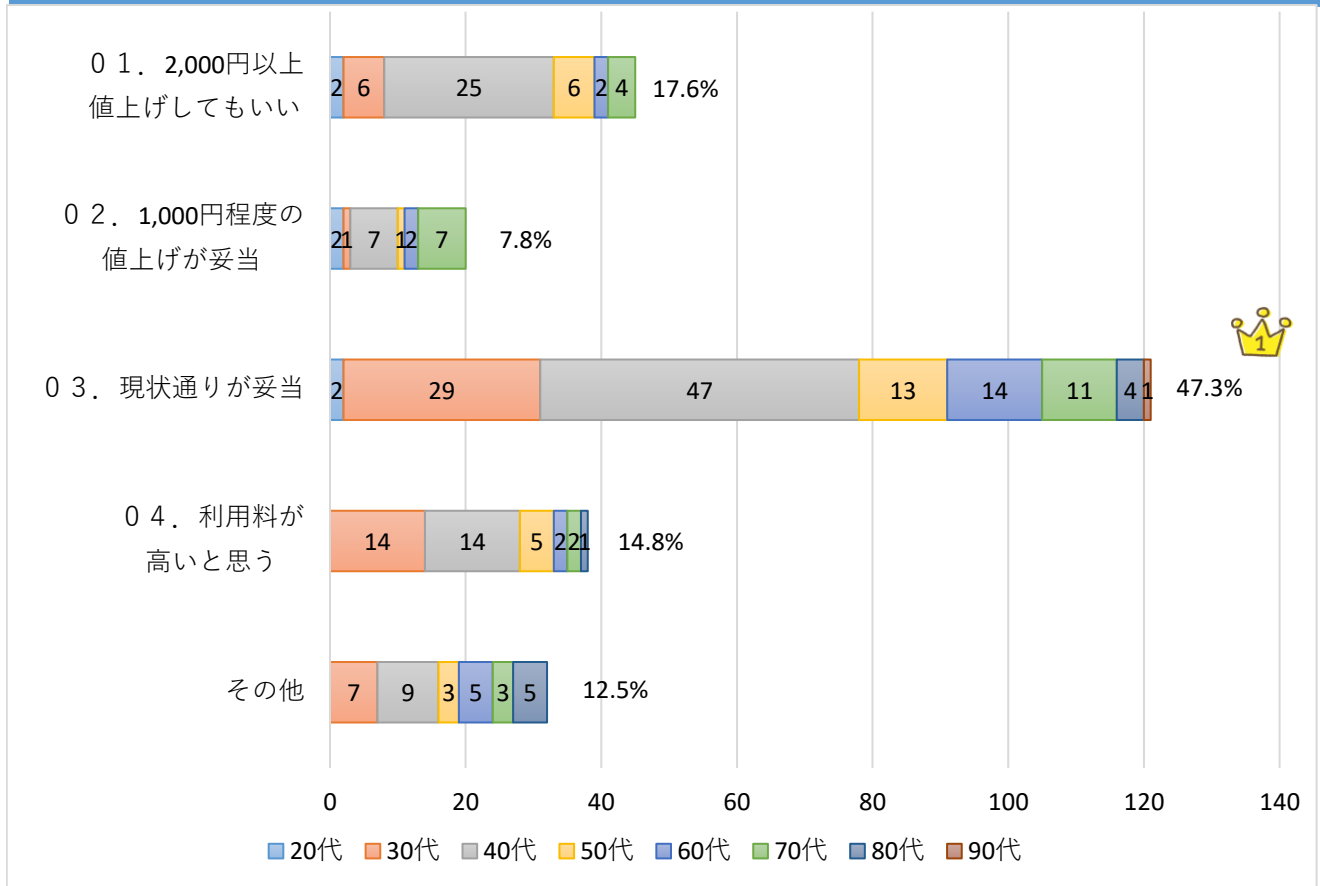
<コメント>

土曜日の過ごし方については、平日と同様、自宅で過ごす子どもが多い結果になりました。また、平日と比べて公園や校庭、商業施設で過ごす子どもが多く、学童保育室やあびっ子クラブで過ごす子どもが非常に少ないことがわかりました。今回の結果を踏まえ、今後の学童保育室・あびっ子クラブの土曜日運営のあり方について、参考とさせていただきます。

問 1 1 学童保育室の利用料（月額8,000円、ただし8月分を除く）について金額は妥当だと思いますか。

※学童保育室では年間約290日程度開室しており、就労等により家庭保育ができない世帯の児童（800人～900人程度）を19時までお預かりしています。経費として年間約2億4千万円程度かかっています。

※近隣市（東葛地域）の利用料は、月額8,000円から10,000円（ただし8月分を除く）です。



※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。（次ページ以降も同じ。）

【その他回答】

- ・利用していないのでわからない（同様の回答多数あり）
- ・親の収入によって利用料を変えてもいいと思う（同様の回答多数あり）
- ・子どもがいない（同様の回答複数あり）
- ・質の安定、向上がはかられるための金額設定なら値上げでも良いと思う（同様の回答複数あり）
- ・保育園が無料なので、金額としては妥当かもしれないが、支払うことを考えると痛い
- ・結婚前は収入が限られており高いと感じました。
- ・難しい質問です。学童保育を社会保障とするか、子育て支援とするか、単なる一時預かりとするか、です。

<コメント>

約5割の方が「現状通りが妥当」との結果となりました。

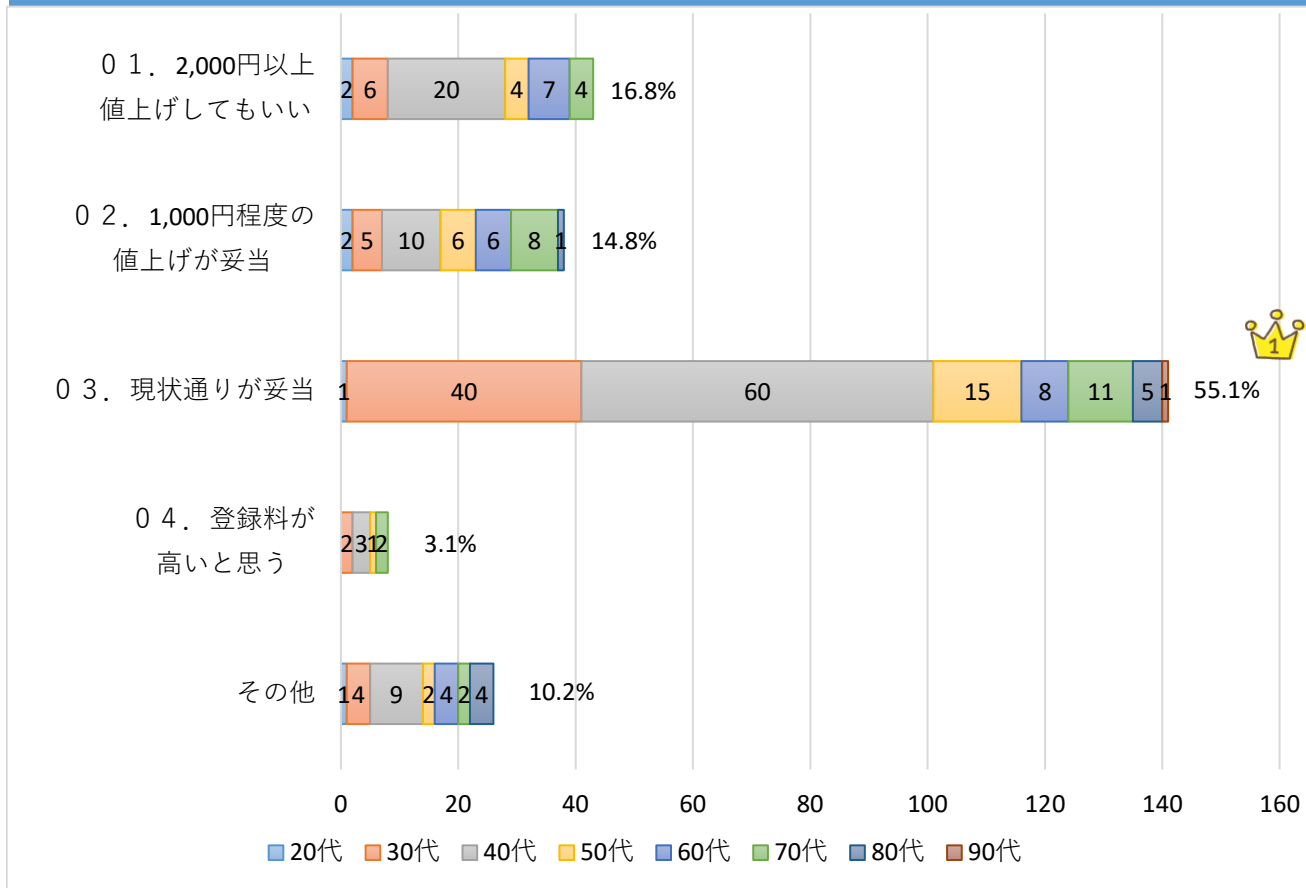
学童保育料には減額制度があり、世帯の収入状況（課税状況）や生活保護や児童扶養手当を受給している場合は、学童保育料が減額されます。（要申請）

東葛地区の学童保育料は、柏市：月額10,000円（8月15,000円）、松戸市：月額9,000円、流山市：月額9,500円、野田市：月額9,600円、鎌ヶ谷市：月額8,000円（おやつ代別途月額1,600円）になります。今回のご意見を学童保育料の見直しをする際の参考とさせていただきます。

問12 あびっ子クラブの登録料（年間1,000円）について金額は妥当だと思いますか。

※あびっ子クラブは年間約280日程度、17時まで開室しており、年に1回登録しておけば、いつでも利用できます。チャレンジタイムの実施や見守り、異年齢交流を行う事業であり、経費として年間約6千万円程度かかっています。

※東葛地域では、全校設置かつ常設型（原則月曜日から土曜日までの開室）は我孫子市のみです。松戸市では週4～5日開室しており、利用料は年間6,000円です。



※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。（次ページ以降も同じ。）

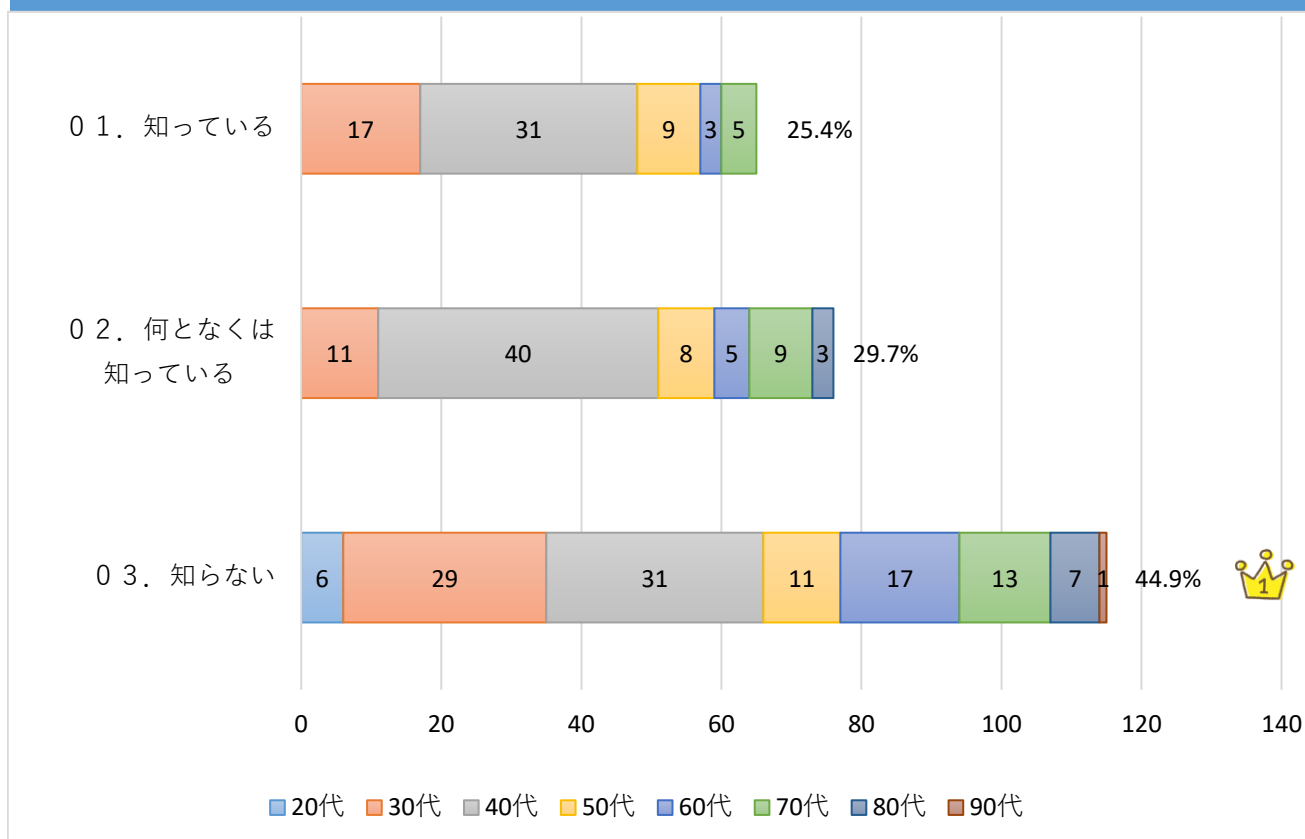
【その他回答】

- ・利用していないのでわからない（同様の回答多数あり）
- ・子どもがいない（同様の回答複数あり）
- ・値上げも仕方ないと思う（同様の回答複数あり）
- ・保護者の年収により、登録料を変動させてもよいのでは
- ・通常内容なら値上げ（2000円）でも良いがコロナ禍での活動をみると現状通りが妥当
- ・スタッフに十分な人件費が割ける程度にしてほしい
- ・学童保育を社会保障ととるか、子育て支援ととるか、単なる一時預かりととるか、いわゆる自助・共助・公助の判断です。
- ・お金は払うが一度も利用しない人もいるので、利用する頻度で金額を設定すれば良いと思う

<コメント>

「現状通りが妥当」の結果が5割以上を占めました。中には、値上げも仕方ないとの意見もありましたが、コロナ禍で制限されているなら現在の金額が妥当の意見もありました。常設型での運営は、我孫子市の大きな特徴のひとつですが、問10の結果と合わせて、今後のあびっ子クラブ登録料の金額及び運営費見直しの参考とさせていただきます。

問13 学童保育室とあびっ子クラブは事業の目的が違うことを知っていますか。



※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。（次ページ以降も同じ。）

<コメント>

約5割近くの方が、学童保育室とあびっ子クラブの事業目的が違うことを「知らない」との結果となりました。学童保育室は、家庭の事情等により保育が必要な児童の放課後（土曜日、春・夏・冬休み等の学校休業日は1日保育）に保育を行い、生活を継続的に保障することを通して、親の仕事と子育ての両立を支援する家庭に代わる毎日の「生活の場」です。年間を通して、同じ子どもたちがスタッフとともに、長い時間をかけてお互いにわかり合いながら生活していく場所です。一方、あびっ子クラブは「遊びの場」という限られた目的のために、色々な子どもが自由に出入りできる場所です。特徴としては、年間約290日の常設型の運営を可能としているため、いつでも好きな時に来て遊べること、また、「チャレンジタイム」という地域の方々に先生にしたスポーツや書道等の文化体験活動を行っています。なお、学童保育をご利用されている子どもは、無料であびっ子クラブに登録することができます。（要登録料免除申請）

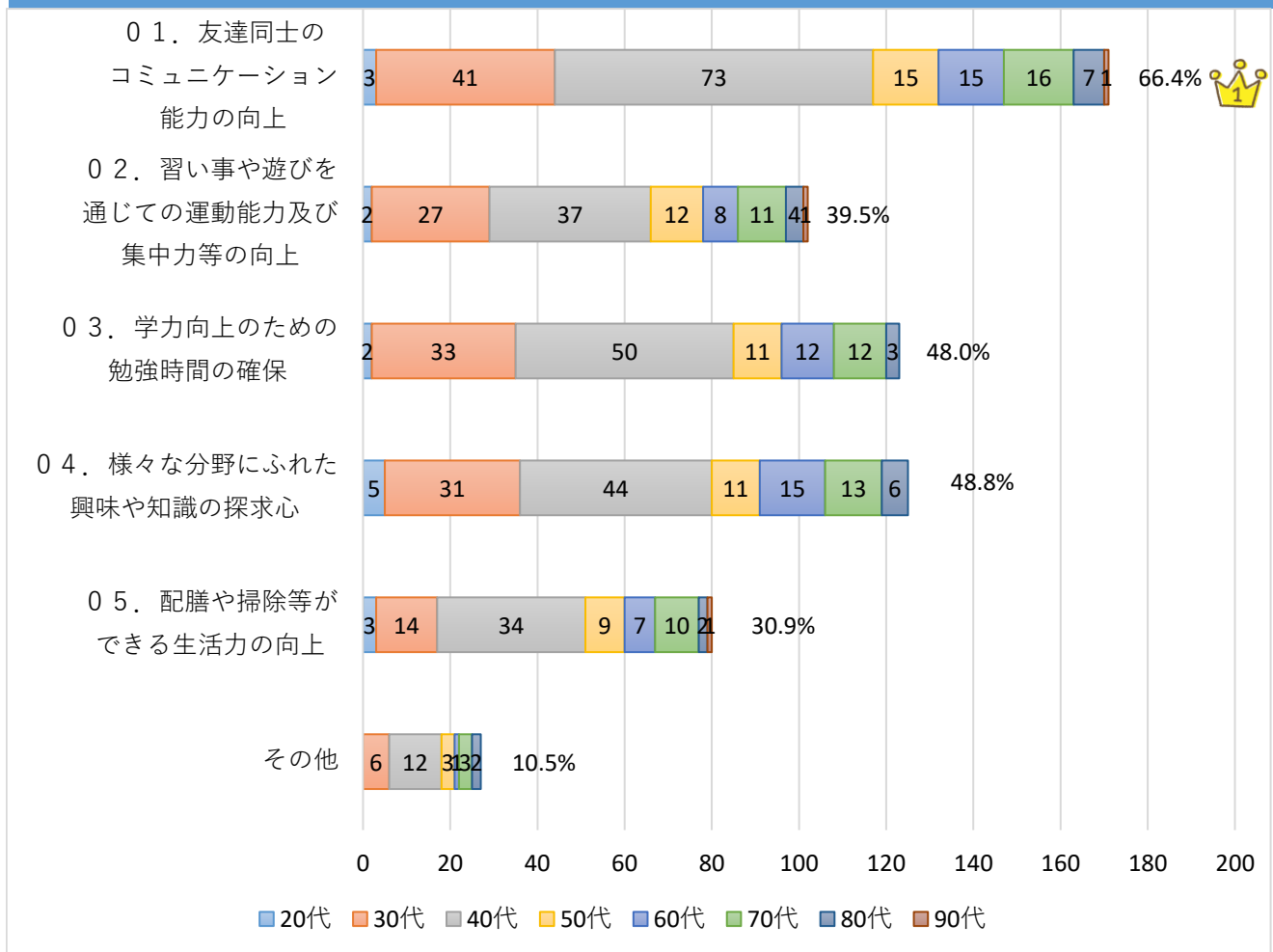
あびっ子クラブ開設時間（11月～1月は、16:30まで）

平日：放課後～17:00

土曜日：10:00～17:00

長期休業日：9:00～17:00

問14 学童保育室の事業内容として何を求めますか。（あてはまるものをすべてお選びください。）



※複数選択のため、パーセントは当該選択肢を選んだ方を回答者の中で割った数値となっております。

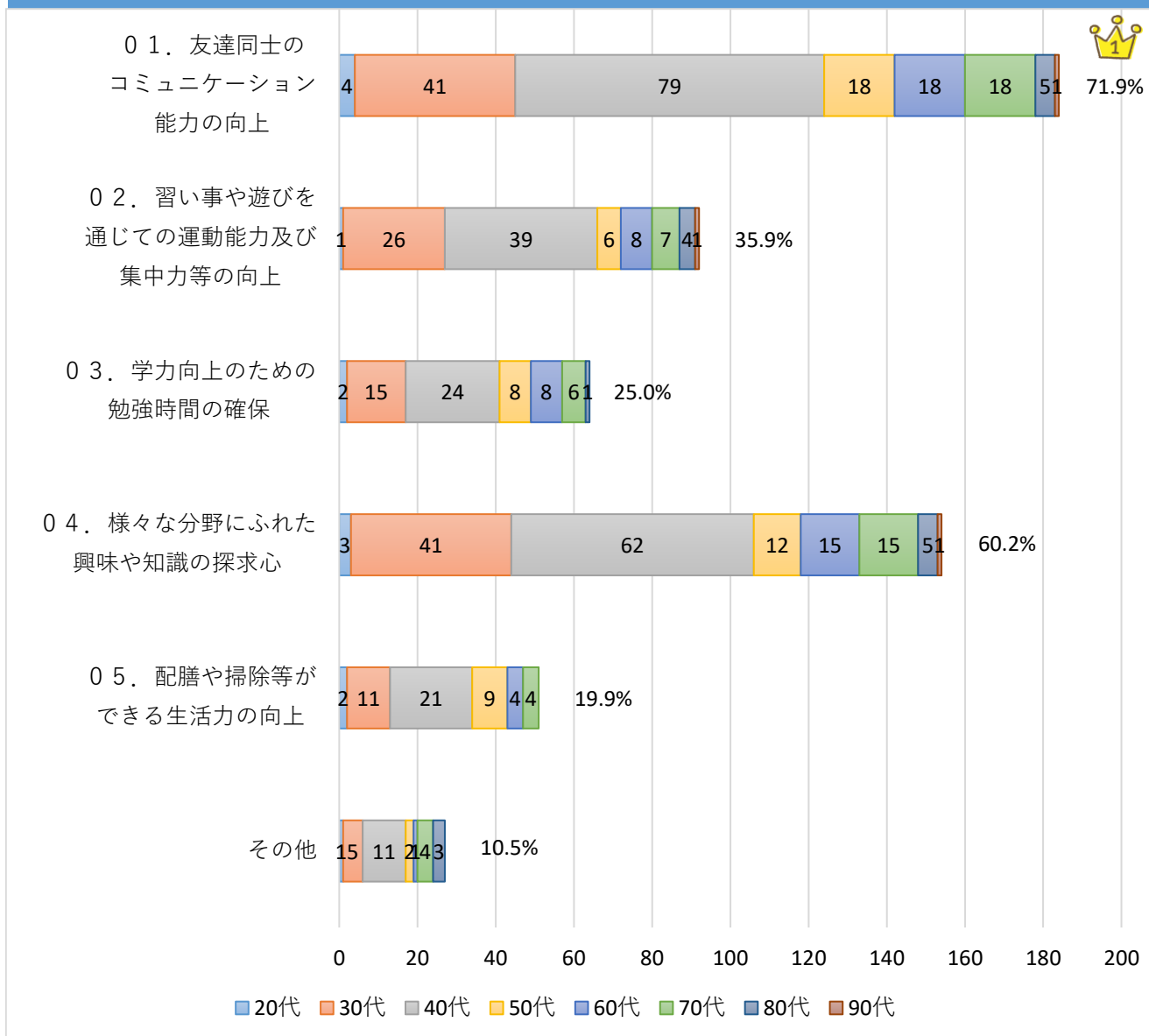
【その他回答】

- ・対象の子どもがいないのでわからない（同様の回答多数あり）
- ・安心安全に過ごせる環境（同様の回答多数あり）
- ・宿題に取り組むように促してほしい（同様の回答複数あり）
- ・のびのびと遊べる中で考える事へ繋げていけるような環境
- ・異年齢同士の交流
- ・居心地のよさの向上、利用者の保護者の負担の軽減
- ・働く親のためのもの
- ・預かり保育
- ・独り立ちできる児童の育成

<コメント>

アンケートの結果から、「コミュニケーション能力の向上」、次いで「様々な分野への興味や探求心」、「勉強時間の確保」となりました。学童保育室では様々な学年の子ども達が過ごしているのので、コミュニケーション能力の向上につながると考えています。同時に子どもたち同士のトラブルも発生しますが、スタッフが全て解決するのではなく、子ども達同士で解決の糸口を見出すための支援ができるよう、指導しています。また、一日保育や短縮日課時など、学童保育室で過ごす時間が長いときには学習時間を設け、勉強時間を確保しています。引き続き、ご意見を反映できるよう努めていきます。

問15 あびっ子クラブの事業内容として何を求めますか。(あてはまるものをすべてお選びください。)



※複数選択のため、パーセントは当該選択肢を選んだ方を回答者の中で割った数値となっております。

<コメント>

アンケート結果から、学童保育室と同様に「コミュニケーション能力の向上」が一番多い結果となりました。あびっ子クラブにおいても様々な子どもたちとの出会いや、地域の方々との交流もあるため、コミュニケーション能力の向上が期待できます。次いで様々な分野の興味や知識となっております。夏休み等の開室時間が長いときには、NPOや民間事業者が実施するイベント等も取り入れ、普段とは異なるチャレンジタイムを実施しています。今年の夏休みには、NPO主催のチャレンジタイム「目のふしぎ」に二小あびっ子クラブがZOOMを活用して参加しました。引き続き様々な分野に触れることができるよう企画・運営していきます。